

# 土砂災害状況と復旧方針～緊急的に国直轄で実施～

中越地震で多数の土砂崩れ、地すべりの発生により多くの被害が出た山古志村では、現在全村民が長岡市内に避難している。山古志村を中心とした地域の被災状況を調査した結果、土砂崩れや地すべりにより発生した多量の土砂が河川を埋塞させ、道路を寸断させるなど、甚大な被害が発生していることが判明した。

11月2日、新潟県知事から国土交通大臣に対し、大規模に被災した国道291号の災害復旧、流出土砂による天然ダムが問題となっている芋川流域等の砂防事業について、直轄による事業実施も含め支援を要請された。

これを受け、国道291号の災害復旧を管理者である新潟県に代わって国が行うこととした。また、天然ダムが問題となっている山古志村東竹沢地区、寺野地区の2地区の砂防事業については、緊急的に国直轄で実施することとした。

これらを一括的かつ効率的に推進するため、11月5日、北陸地方整備局内に「中越地震復旧対策準備室」を設置した。

## ■芋川流域における天然ダム形成状況と対応



⑦長岡市濁沢  
家屋が倒壊し、火災が発生した状況。

● 砂防(補助)被害発生箇所

発生災害 (11/3 15:00現在)	発生件数	人的被害		家屋損壊数		
		死者	行方不明 負傷者	全壊	半壊	一部損壊
地すべり	41			10	22	28
がけ崩れ	45	7	1	5	64	40
土石流等	19				0	1
計	105	7	1	15	86	69

## ○砂防

現在、土砂崩れにより河道をせき止めて生じる天然ダムが45箇所形成されている。山古志村の芋川流域では5箇所の天然ダムができており、なかでも東竹沢地区、寺野地区に形成された天然ダムは規模が大きく人家が水没するなどの被害が発生している。

現在、二次災害防止のため排水路を確保する土砂掘削やポンプ排水を実施している。



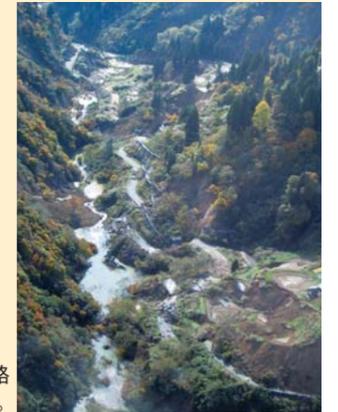
①山古志村東竹沢



②山古志村東竹沢



③山古志村東竹沢  
橋があった箇所が完全に寸断された。



④山古志村竹沢  
山崩れが連続して道路の現形をとどめていない。

## ■国道291号直轄権限代行区間詳細図



## ●道路

山古志村内には国道291号、352号や県道小栗山川口線、県道柏崎高浜堀之内線などの幹線道路があるが、いずれも各所で土砂災害などの被害を受け通行止となっている。特に国道291号は被害が大きく、道路の原形をとどめていない箇所もみられる。

現在、復旧計画を検討するため、ヘリコプターからの写真撮影や徒歩による現地調査を実施している。



⑤小千谷市南荷頃



⑥小千谷市南荷頃  
大規模な土砂崩れにより県道とともに土砂に埋もれた。

※地図の市町村名は、合併前で記載しています。11月1日より魚沼市(旧 堀之内町、小出町、湯之谷村、広神村、守門村、入瀬村)、南魚沼市(旧 六日町、大和町)になりました。